

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第35号 2013年10月25日

発行 **がんばれくぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)



とんでもない!

やめてよ! 消費税増税 8%

安倍首相は、とうとう消費税率を来年4月に8%に増税すると発表しました。

消費税増税は「社会保障のため」と言いながら、現在の介護保険の要支援1、2の人を保険外にするなど、医療・介護・年金・生活保護・保育と社会保障の切り下げが同時に検討されています。

しかも、このために予想される景気悪化への経済対策としてあげられている、復興特別法人税の廃止や投資減税などは、財界・経団連の求める大企業優遇策です。法人税を減税し、大企業の利益を増やせば賃上げも雇用も前進するといいますが、これまでも法人税を減税しても、大企業の内部留保を増やすだけで、労働者には反映されていないのですから、口実でしかないでしょう。

今、不安定雇用がひろがり、安倍政権のインフレ推進策のもとで物価が上昇する中で、わずかな年金で暮らす高齢者など、ギリギリで生活している多くの国民にとって、消費税増税は生命にかかわる大問題です。こんなことが許されているのでしょうか？

東京五輪招致の際、「福島原発事故の汚染水は、コントロールされている」と言い、さらに熊本で開かれた水銀を国際的に規制する外交会議のメッセージで、「水銀被害を克服した日本」と言って、その事実とかけ離れた言動に反発をかってる安倍首相。

口のうまい人物の言うことに期待したり、「しかたがない」とあきらめたりせず、「増税撤回!」の声をあげていきましょう。

日本共産党は消費税増税に反対し、「消費税に頼らない」社会保障の充実、財政再建を提案して来ましたが、そして今、様々な意見の違いはあっても、増税中止の一点で共同し、安倍内閣の暴走を食い止めようと呼びかけています。

葉山の財政が厳しいって？

「こんな裕福な財政は見たことない」

議会主催講演会 講師 元多治見市長
町議会議員 くぼたみき

財政問題を勉強する為、議会主催の講演を聞きました。講師は元多治見市長・西寺氏。氏は3期12年の多治見市長任期中に財政立て直しに取り組み、日経の行政改革度調査で全国13位へと、多治見市の財政を立て直したと言われた方です。勇退された後は、その成果を学びたいと多くの自治体から講演依頼を受けておられます。

西寺氏は葉山の財政数値を見て「こんな裕福な財政数値は見たことがない」と言っています。講演依頼は財政状況が厳しく、財政状況を立て直す参考にという自治体が多く、葉山の財政状況には驚いている様子でした。

山梨町長は「後世に借金を残さないため」と財政規模を縮小し、「財源が厳しい」と言いつつ、元々少ない予算に、更に支出を押さえ余剰金が出たといって基金に積立をしています。

「後世のために、後世のために」と、今現在の福祉的援助などを必要としている町民の方に必要以上に我慢を強いている気がします。

一例を上げれば、福祉的予算の民生費は4800万円弱増えていますが、増えた中身は一般事務費と償還金利息および割引料3400万円強で、実際の福祉施策の強化はほとんど見られません。むしろ多くの面で23年度決算より減少しています。

このように裕福でありながら、大変厳しいお金の使い方をしているのです。

一方基金は。「財政調整基金」は、町長自身「5億円程度が望ましい」と言っているが、現在は8億円にもなっています。

将来に備えることも大切ですが、しっかりと財政規模を確保し、現在の町民要望にも対応するよう要望しました。

現在の福祉施策や行政サービスを余裕があるのに縮小されては、いくら町長が夢を語っても納得できないのではないのでしょうか。